

第 3 章

市民の声アンケート結果概要



第3章 市民の声アンケート結果



1 調査概要

目的

現状の市民生活の実態や実感、市の各政策分野の取組に対する満足度・重要度を定量的に把握するとともに、平成22年と平成26年に実施したアンケート調査との比較・分析を行い、第6次総合計画の後期基本計画の策定や各施策・事業の推進につなげるもの

調査方法など

項目	今回調査	前回調査	前々回調査
調査時期	平成 30 年 1 月	平成 26 年 1 月	平成 22 年 1 月
調査区域	上越市全域		
調査対象	満 18 歳以上の市民 5,000 人	満 20 歳以上の市民 5,000 人	
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出		
回収率	43.36%	46.72%	51.08%

2 調査結果の概要

①生活実態・実感

現在の生活実態や生活実感について伺いました。実感の高い項目(全27項目中)の上位は次のとおりです。

順位	項目	実感している人の割合
1	自然が豊かである	90.4%
2	治安がよい	88.6%
3	海や山の幸に恵まれ、食や特産物が豊富である	84.8%

○考察

- ・1位の「自然が豊かである」は、調査ごと（H22、26）に割合が高まっています。
- ・市の魅力についての自由記述意見では、四季折々の美しい自然や、山・海・大地がもたらす豊かな「食」を上げる意見が多くありました。

②市の取組に対する満足度・重要度

市の主な取組(全61項目)について、現在どれくらい満足しているか(満足度)、今後どれくらい重要か(重要度)を伺いました。回答を点数化した平均スコア(満足から不満までの5段階の回答に、「2」～「-2」を付けて平均点を算出。重要度も同様)の上位・下位3項目は次のとおりです。

【満足度 上位3項目】

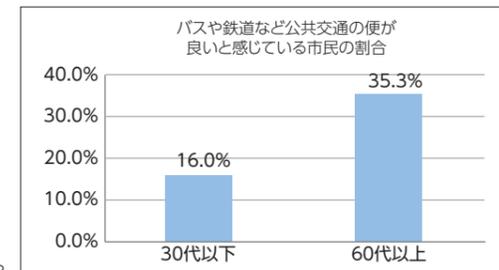
順位	項目	平均スコア
1	水道水の供給	0.80
2	生活排水の処理対策	0.58
3	ごみ減量とリサイクル	0.44

【満足度 下位3項目】

順位	項目	平均スコア
59	商業の振興	-0.37
60	公共交通の利便性向上	-0.46
61	上越妙高駅の周辺整備	-0.49

○考察

- ・上位3項目は、過去の調査結果（H22、26）と同じでした。水道・排水処理・ごみ処理などのライフライン機能が高い水準で整っていることが満足度につながっているといえます。
- ・下位の「商業の振興」は、市内の卸売・小売業の営業店舗数の減少などが要因であると考えられます。
- ・「公共交通の利便性向上」は、移動に便利な自家用車が普及している中で、電車・バスの運行が市民のニーズに十分に答えられていないことなどが要因と考えられます。
- ・公共交通の利便性が高いと感じる人は、年代で差がありました。（右図のとおり）
- ・「上越妙高駅の周辺整備」は、金沢や富山などに比べて目に見える形での民間開発が遅れていたものの、開発計画が概ね決まり、今後、施設の建設等が着実に進んでいきます。



【重要度 上位3項目】

順位	項目	平均スコア
1	防災対策	1.45
2	雪対策	1.37
3	医療体制の充実	1.28

【重要度 下位3項目】

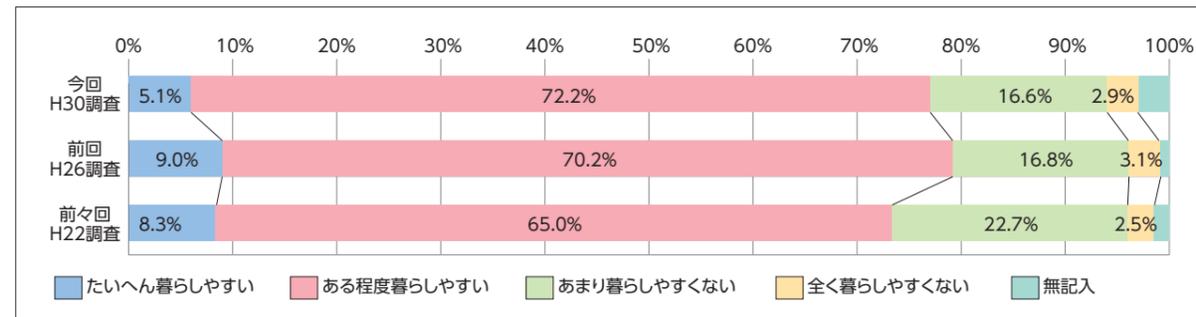
順位	項目	平均スコア
59	芸術、文化活動の推進	0.50
60	スポーツ・レクの振興	0.50
61	国際的な文化交流の推進	0.43

○考察

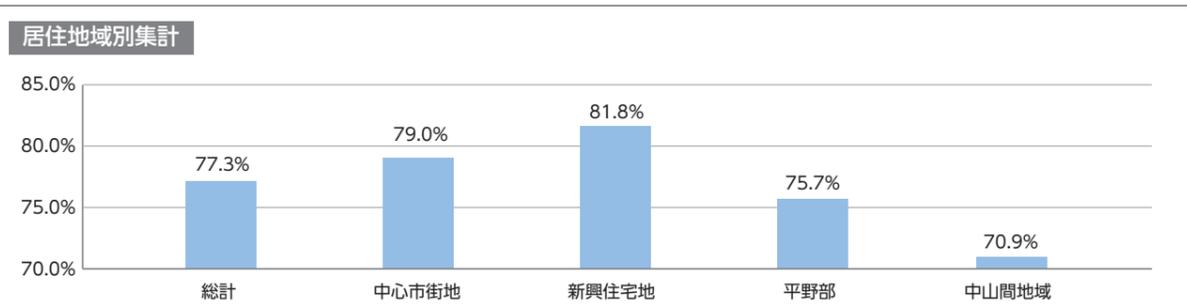
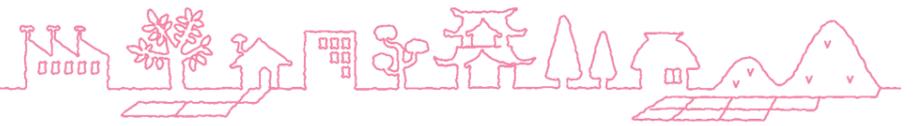
- ・「芸術・文化」や「スポーツ・レク」、「国際交流」は、当市の長い歴史の中で多様な功績・活動が受け継がれているものの、下位となっています。その一方で、市民の皆さんの生命や安全・安心との結び付きの強い「防災対策」や「雪対策」等の項目が上位となっています。
- ・上位3項目は、前回の調査（H26）と同じであり、自由記述意見として、「防災対策」では水害対策や避難場所の充実を、「雪対策」では除雪した雪の排雪対策や高齢者世帯の除雪サポートを、「医療体制の充実」では医師の確保を求める意見などがありました。

③暮らしやすさ

「たいへん暮らしやすい」「ある程度暮らしやすい」を合わせて約8割(77.3%)の市民が暮らしやすいと思っています。前回調査から「たいへん暮らしやすい」が減少し、「ある程度暮らしやすい」が増加しました。

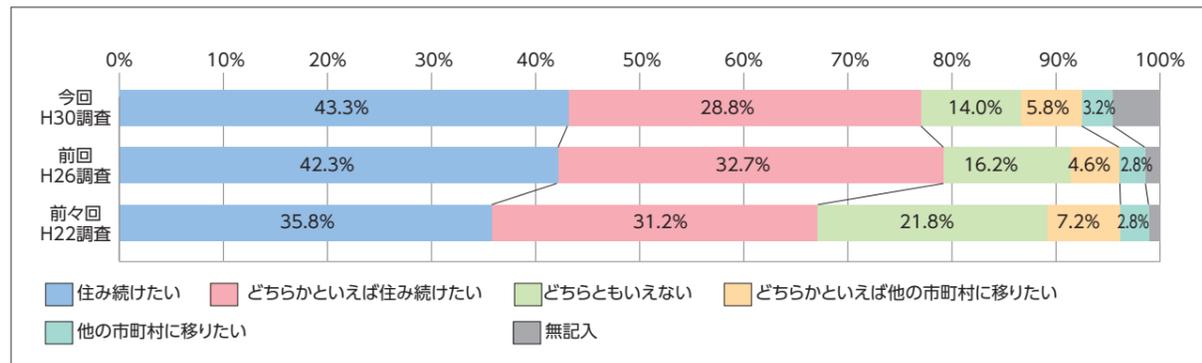


第3章 市民の声アンケート結果

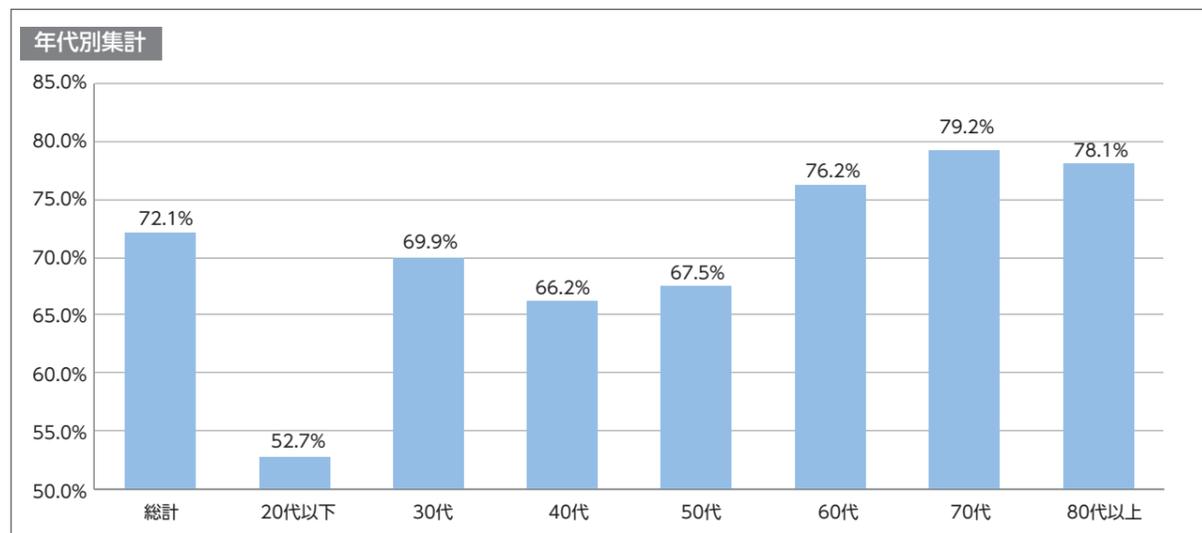


「たいへん暮らしやすい」または「ある程度暮らしやすい」と回答した市民の割合は、中山間地域でやや低くなっています。なお、年齢別の回答では、大きな差異はありません。

④上越市に住み続ける意向

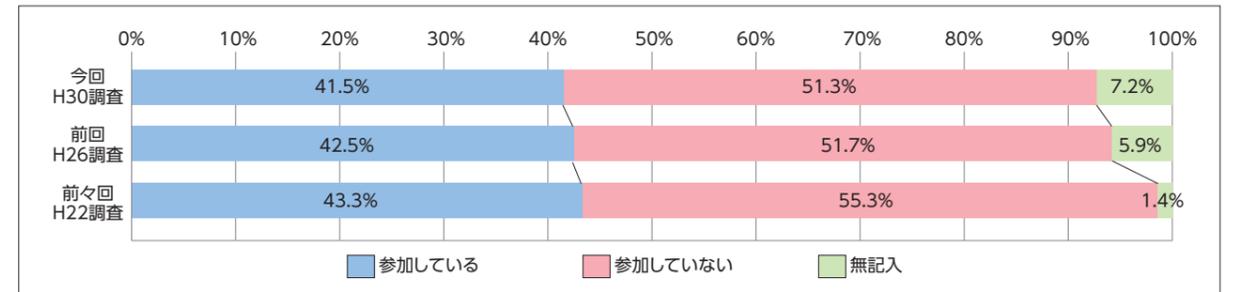


「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせて7割以上（72.1%）の市民が住み続けたいと思っています。前回調査（75.0%）と比べ、減少したものの、「住み続けたい」としている市民は調査ごとに増加しています。

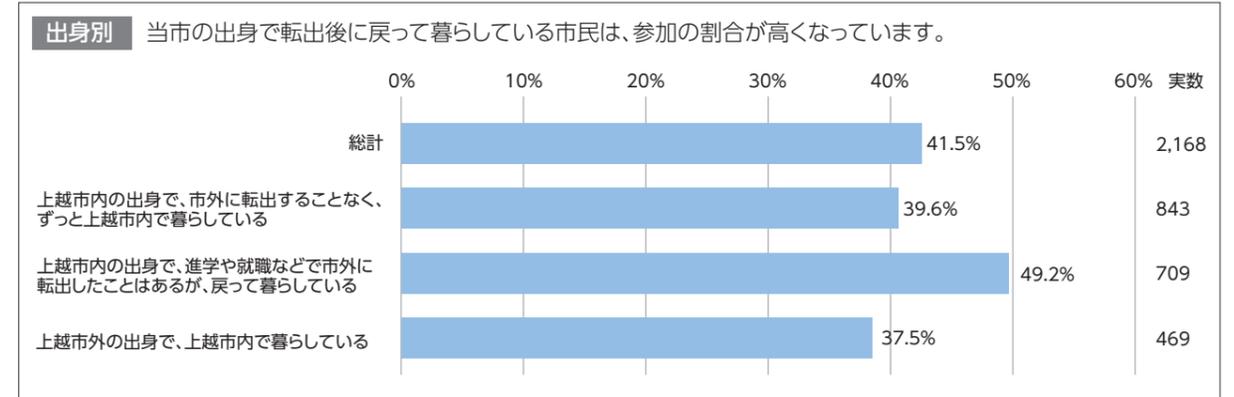
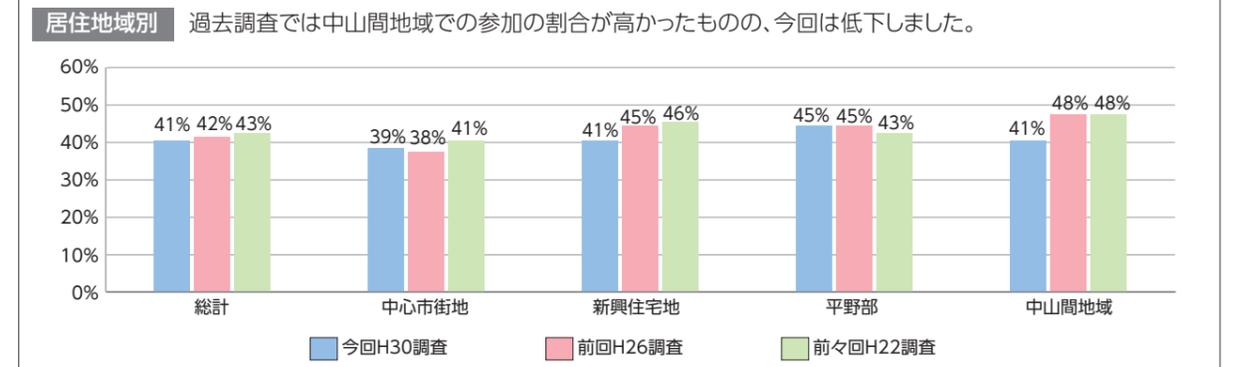
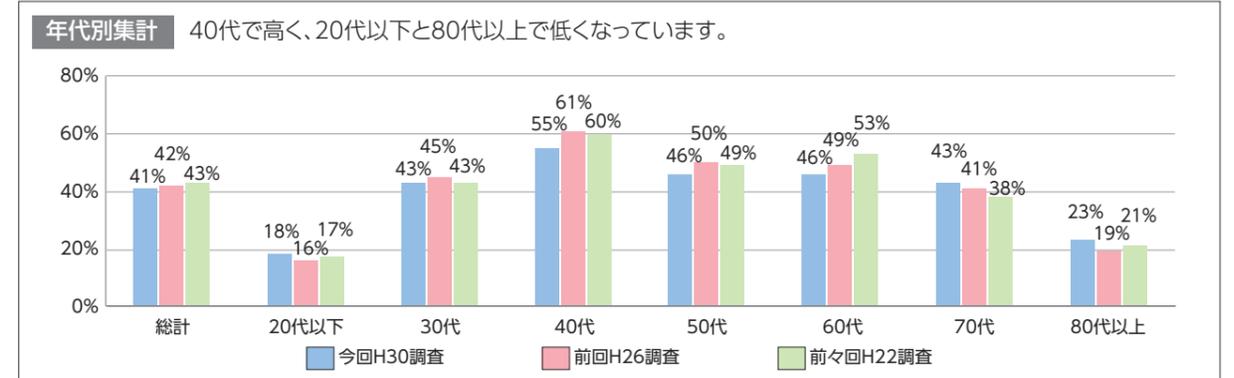


「住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」と回答した市民の割合は、年代別では20代以下で低くなっています。なお、居住地別の回答では、大きな差異はありません。

⑤地域活動や市民活動への参加



地域活動や市民活動に参加している市民は約4割です。



序論

序論

基本構想

基本構想

基本計画

基本計画

資料編

資料編